



# Let's do it now!

2022 に向けて誇りを持って All is well.

2020-2021 年度  
西日本区理事 古田 裕和

## ■9月27日にアジア・太平洋地域において CONFERENCE ON GOLD 2.0リーダークラウド 開発プログラムの研修会に参加しました。

9 月も終わりようやく秋らしい空気が漂い始めました。例年なら秋の運動会のシーズンとなり多くの学校や地域で運動会が開催され盛り上がるのですが、今年はやはり新型コロナの影響で開催できないことになるのでしょうか。寂しいですね。

今月はまず悲しいお知らせからお伝えすることになります。前期 5 月 23 日にチャーターした、びわこ部の高島クラブ栗本美清会長が 9 月 23 日に 53 歳で急逝されました。クラブができて、これからメンバーといろいろな活動を考えられていたこの時期に大変残念です。心よりご冥福をお祈りいたします。

9 月 27 日にアジア・太平洋地域において CONFERENCE ON GOLD 2.0 という主にユース向けのリーダークラウド開発プログラムの研修会が行われ参加しました。アジアの各地域からは多くのユースメンバーが参加し今後のメンバーシップに役立つ研修だったと思います。西日本区からのユース出席はなかったのが残念であり反省点と思っています。

また 10 月の強調月間は BF・EF となります。このことについては後ろのページに中堀国際交流主任からの詳しい説明が載っていますので是非ご覧ください。ここでは EF の事について少し触れさせていただきます。EF とは Endowment Fund という名称で国際ワイズ基金のことをいいます。中堀主任も書かれています国際では今 EF 基金を募ることに力を入れています。皆さまがワイズ活動や普段の生活の中で何か記念になることがあった、うれしいことがあったなどの時にそのことを記念して EF 献金を行う事も是非今後考えていってください。現在は各種表彰などもありますので是非よろしく願います。

今期の大きな方針である広報について、びわこ部近江八幡クラブの浅岡徹夫ワイズから報告がありました。災害時の社会貢献として滋賀 YMCA の会館を「災害時帰宅困難者の一時滞在施設」として提供する協定を近江八幡市と滋賀 YMCA 結びその調印式が行われた。そしてその模様が 2 社の新聞に取り上げられた。というもので、その席で浅岡ワイズからワイズメンズクラブについてもしっかりとアピールしていただきました。ありがとうございました。

最後に各クラブからのプリテンを読んで興味ある記事を見つけました。熊本ひがしクラブのプリテンで菅ワイズからの一言が載っていました。菅ワイズは農業委員長ということです。まずその委員会に興味を惹かれました。そして実際に今年はシャインマスカットとベリー 300 箱の収穫を予定しているとのことでした。それをクラブファンドにし、30 万円の売り上げを目指すとのこと。そしてクラブ 20 周年には 100 万円を東ティモールへ！を目標にされているようです。農業委員会、頑張ってください。

ものの見えない案内人、あなたたちは不幸だ。

聖書の小窓「見えているか」

マタイによる福音書 23章 16節

見えているようで、見えてないのが自分自身だと言われます。

大型タンカーの船長から聞いた話です。大型タンカーは航行中にすぐに止まれない。完全に停止するまでには3時間以上かかる。港に入っていくとき、これを計算しなければならない。また湾に入ったときには必ず水先案内人が必要となる。この案内人は3時間先にどうなるかを計算しながら状況を把握し、さらにすべての舟の位置をチェックしている。大きな流れは止められないこと、止めるためには前もっての準備と知識を必要とする。案内人には、3時間すべてを見えている事が求められる。命がかかっているのだからと。

イエスは「ものの見えない案内人」という言葉で、真実の救いへと導くこと大切さを語られました。私たちには、イエスのみ言葉が、ものの見える案内人として与えられています。どのように命への道を案内して下さるのかを聞き取るのが私たちの務めです。

日本福音ルーテル広島教会(松山教会兼務) 牧師:立野泰博



■各部長から西日本区のみなさんに伝えたい!

「ちょっと聞いて欲しいなあ」「こんな良いことありました」

瀬戸山陰部 部長 長壽和子

岡山クラブ活動報告

「YMCAせとうちサマーキャンプ支援報告」



新型コロナウイルスの影響で例年同様にはサマーキャンプを行うことができない中、少しでもYMCAせとうちに協力できないかと考え、8月10日(月)牛窓前島日帰りキャンプのバスチャーター料金を支援しました。

また、夏のファミリーキャンプとETCキャンプの2グループにキャンプを楽しいものにしてほしいと、ブドウ(シャインマスカット)とスイカの差し入れをしました。当初の予定はファミリーキャンプの現地での昼食用意と交流でしたが、コロナ感染が再び増加傾向にあり、検討の結果ワイズメンバーの参加は延期しました。



子どもたちや学生リーダーの弾ける笑顔を見るとコロナ禍でのYMCAの働きが如何に重要なものかを伺い知ることができます。今後も、YMCAと協働して活動していきたいと思ひます。(書記 高原良子)

## 仙台青葉城クラブ40周年記念例会にZOOM参加

姫路グローバルクラブ 会長 橋崎恵子

D B Cを締結して18年 親しく交流を続けてきた仙台青葉城クラブが40周年を迎えられました。コロナ禍の中、県外の方はお誘いしませんが、D B Cクラブの皆様にはお知らせだけはしたいとのことでメールをいただきました。そして、ZOOMでの参加もできるとのことでしたので、クラブとしてZOOM参加しました。お久しぶりに仙台青葉城クラブの皆様のお顔を見て、お話をすることもでき例会をともにお祝いできましたことをとてもうれしく思いました。ZOOMでお祝いの贈呈をしたりと盛り上がり、楽しいひと時でした。

(追記)姫路グローバルサイド:顔が見えるよう、透明マスクシールドを使用。



## 中部

部長 早川政人

### ワイズメンズクラブ西日本区 中部について

2020年古田理事期、7月から新型コロナ禍での出発になり 手探り状態で始まり、中部各クラブへの公式訪問も少し先延ばしにしました。西日本区 各部長ミーティングも開かれ大変、心強く感謝いたしています。中部はコロナ禍の中各クラブがキックオフ例会が WEB等、色々な形式で始まり 9月からの例会は対面での例会も始まる様です。各クラブの事業も中止をせざるを得ない事も多くあり 形を変えた事業にならざるを得ません。今期、2ヶ月が過ぎ 遅きには感じていますが 新しい挑戦をして行きたい。部会も中止にしましたが、中部の各クラブメンバーとの交流と新しく入会になったメンバーにも ワイズメンズクラブの楽しさを是非に感じてもらえる機会を作る計画をします。



## びわこ部

部長 西川裕介

### コロナ禍の中思うこと

コロナ禍の中今期もスタートし、私共びわこ部でも、対面での例会が少しずつ始まりました。当初より、縮小した形ではありますが、ホテルや広い会場での食事を伴う例会を行われるクラブが少しずつ出てまいりました。もちろん、アルコール消毒やマスクやフェイスシールドなどの対策をしっかりとられているとのこと。今日までに、3クラブの部長公式訪問を済ませることができました。各クラブのメンバーの皆様方の久しぶりの賑やかな例会に、とても楽しそうにされている姿が心象的でございます。メンバーのある方が、「ニコニコ献金の時にみんなの顔が見れて今日は本当にうれしい」とおっしゃっているのが心に残っております。先輩方がおっしゃる、「ワイズの活動の基本は例会にある」ということがわかる気がしました。私の所属する、彦根シャトークラブもコロナ前は月2回の例会が当たり前でしたが、今は月1回に減らし、様子を窺う日々でございます。仕事等が忙しいときは、「今日の例会はめんどくさいな」と思う時もございましたが、今は例会が待ち遠しいと思うことがあります。多分全国のワイズメンが同じことを思っておられると感じる日々でございます。



## 西中国部 部長 渡邊悦司

### 西中国部から報告

8月23日日曜日に被爆75周年・創立25周年平和創作劇 I PRAY 2020が公演されました。今年是被爆75周年という節目の年になりますが、新型コロナウイルスの蔓延が心配される中多くの方々のご協力により開催されました。ワイズメンズクラブ国際協会西日本区の助成をいただきました西中国部各クラブより支援をいたしました。ワイズメンズクラブに対しましてIPRAY事務局よりお礼のメールが届きましたので披露(一部抜粋)させていただきます。

特定非営利活動法人 I P R A Y 事務局長 胡田 です。

暑い日が続いておりますが、各位におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、先日開催いたしました第25回IPRAY公演におきましては、多大なるご支援と激励を賜りまして、誠にありがたく心より厚くお礼申し上げます。コロナ禍での開催は、大きなリスクと困難さを抱えながらのものでありましたが、“こんな時こそ頑張らなければ”と勇気を出して取り組みました。被爆75年という節目を迎え、戦争の残忍さ・悲惨さと核兵器の廃絶を訴え、平和な世界への道を切り拓く使命を感じつつ心を合わせ、心を込めて実施いたしました。YouTubeによる世界へのライブ配信にもチャレンジいたしました。その反響には私たちも心を打たれた次第です。

これからも皆様のご期待にお応えすべく、さらなる努力を積み重ねてまいります。字幕入り動画をYoutubeにて公開しております。 <https://youtu.be/IroBQPOUjds> 今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 阪和部 部長 中井信一

### 難民問題を皆で考えよう！

#### 阪和部 大阪サウスクラブ 副会長、阪和部EMC事業主査 鉄谷明

私は以前より世界の難民問題に関心を持っており、当クラブで勉強会を行うこととなり、本年3月に公開例会を企画しました。しかし新型コロナウイルスの感染拡大で延期を余儀なくされ、改めて本年11月10日に大阪サウスクラブ設立65周年記念の特別例会として開催の運びとなりました。残念ながらこのコロナ禍で世界の難民が増加している悲しい現実もあります。当日は国連難民高等弁務官事務所の芳島昭様に「世界の難民問題を考える」テーマでお話を聞くことになっています。ご興味のある方は、どうぞご連絡下さい。



巻末の周年例会情報も合わせてご覧ください



中西部

部長 吉田由美



コロナ後の新たな日常による新たな活動が素敵なものとなる事を信じています。

西日本区内で、最も新型コロナウィルス感染者数の多い大阪府内を活動の場にする中西部ですが、

時短・食事無しなど、各クラブは細心の注意を払いながらも、活動を継続しています。

部長活動計画の最需要項目に挙げていた『中西部Website』が、完成直前まで漕ぎ着けました。

「毎日でも開けて見たくなる宝の箱」としてのホームページが、メンバーのSNSとして

コロナ後の新たな日常による新たな活動が素敵なものとなる事を信じています。

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区⇒リンクページ⇒中西部、または、

<http://chuseibu.com/index.html> からお入りください。



## ■新しい仲間をご紹介します

9/9 入会	橋本 唯	宝塚クラブ
9/9 入会	山名 一平	京都トップスクラブ
9/10 入会	室岡 大介	京都 ZEROクラブ
9/10 入会	大西 宏明	京都 ZEROクラブ
9/14 入会	橋本 順子	とやまクラブ
9/14 入会	山田登喜雄	京都めいぶるクラブ
9/16 入会	川口 圭子	熊本みなみクラブ
8/1 入会	福島 龍治	北京都フロンティアクラブ
8/1 入会	辻 直紀	北京都フロンティアクラブ
8/1 入会	泉 佳代子	北京都フロンティアクラブ



## ■10月の西日本区強調活動 & 国際・交流事業懇親会報告

国際・交流事業主任  
中堀 清哲（鹿児島クラブ）

### BF EFの強調月間です！

**ワイズ用語抜粋の『BF』『EF』を見て意味を確認して、真の国際的社会奉仕団体の一員としての自覚をしましょう。その上で行動しましょう。**

皆さまにおかれましてはコロナ禍の状況下であっても変わらぬワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。さて、10月は西日本区におきましては「BF・EF」の強調月間です。英語表記でBF、EFとありますが、何ぞや？と思われる方にBF、EFについて簡単にまとめました。**BF**とは **Brotherhood Fund：ブラザーフッド基金**  
**EF**とは **Endowment Fund：国際ワイズ基金**のことです。

#### BFの目的と使途

- BF代表や国際役員の公式旅行の費用に充てるために、全ワイズメンが積み立てる基金。使用済み郵便切手を集めて換金する方法（stamps）と、現金（cash）による方法があります。
- 使用済み切手を現金化する作業のために各地域にフィラテリストが決められています。
- 基金の用途を決めるBF使途委員会（BF Expenditure Committee）が国際に設けられています。

#### BF代表とは

BF代表とは、国際から旅費を支給されて、他地域（区）を訪問する代表者のことです。前年度のBF提出実績に応じて、BF使途委員会が次年度のBF代表枠（どの地域からどの地域へ何人派遣するか）を決めて、公募します。昨年度は福岡中央クラブの小田ワイズがコロンビアへ派遣されました。

#### BF代表への応募

- 例年8月末～9月頭に国際より各区に通知があり、区理事及び国際・交流事業主任よりBFデリゲート応募についての案内が各クラブ会長へ送付されます。
- BF代表に応募するには、BF提出が規定以上でなくてはなりません。その規定は後述のアルフ・レイノルズ賞の第1レベルを達成していることが、要求されます。つまり、個人として5ドル以上、クラブにおいてもUS\$5×メンバー数を達成している事です。有意のメンバーが、BF代表として応募しようとした時、個人・クラブが規定を達成していないために、応募が却下されることの無い様、各クラブはGOALを達成する努力をしなければなりません。
- 西日本区においては、「国際大会代表派遣に関する西日本区内規」を定めています。（詳細はHandbook & Membership Rosterをご覧ください）
- 「BFデリゲート応募についての案内」は各クラブに送付しますが、各部の国際・交流事業主査は各クラブに対して希望者を募り、規定期日（例年11月1日）までに余裕を持って本人から必要書類を区理事に提出して頂ける様ご勧奨下さい。区理事の推薦状を添付し、国際に推薦します。

BF献金の西日本区目標は会員様お一人当たり1,500円です。切手締め切りは2月末、現金締め切りは3月15日です。

## EF基金の目的と概要

- ・ワイズダム発展のために会員やクラブなどからの寄付・遺贈・などによって集められた基金です。
- ・国際協会の長期計画委員会では、財政的に強いワイズダムを目指すために、このファンドに近年力を注いでいます。本来は自由意思の献金でしたが、現在はその成果をあげるために目標を掲げ、各種表彰を行なうなど様々なプロモーション策をとっています。
- ・献金の金額（4段階）によって、表彰の種類が異なります。詳細は、省略いたしますが、120CHF以上の献金をすることによって、寄贈者とその理由、対象者名が国際本部事務所にあるGOLDENBOOKに記載される等特典が与えられます。

まずはBF,EFについてロースターなどでもう一度確認して、意味や意義や役割を把握しましょう。そこから、国際的社會奉仕活動団体である、ということ誇りに交流の輪を広げてまいりましょう。

## 8月27日(木) 19時より Zoomにてワイズメンズクラブ西日本区「国際交流事業懇談会(主査研修会)」を開催しました。

古田理事もご参加いただき、17名の各部の国際交流事業主査や部長さん方の参加がありました。3月の次期会長主査研修会が中止になったので主査さん方が不安を抱えていることへの対処を目途として開催されました。初めて顔を合わせる方もいらして、私の主題や方針をお伝える事が出来、皆さま方からも多くのご意見も賜り中身の濃い充実したリモート会議となりました。新しい交流のあり方を交流事業の会議でもって実現できたことは素晴らしいことであります。

最後に西日本区の皆様へお願いです。リモートやパソコンなどを通じての新しい交流の成功事例などを会長から部長、主査さん方へ挙げていただき報告ください。

## ■YMCA報告

### 「バーチャルチャリティラン」という新しい概念を作り出してチャレンジ！ 新しいチャリティーランの方向性が見えてくればと期待しているところです。

今年は、豪雨災害、大型台風の連続しての発生、熱中症、そしてこれからは、新型コロナに加え、インフルエンザの感染拡大時期となります。10月以降も、皆様の健康が守られて災害などが発生しないように祈るばかりです。7月の豪雨災害後に、被災された熊本県球磨村の多くの皆さんは、旧熊本県立多良木高校に開設された避難所にて生活をされています。熊本YMCAが、熊本地震の際に、益城町などで開設された避難所運営のノウハウやネットワークに対しての期待から、受託して、全国のYMCAおよび、他団体であるピースボートの皆さんと現在も避難所での生活をお支えています。

この避難所は、10月までの開設予定ですが、全国のYMCAから延べ44名のスタッフが派遣され、コーディネーターとして従事しています。8月以来、県境を越えての応援が制限されるなどありましたが、熊本県内のワイズメン、熊本YMCAの学生の皆さんなども含めて、被災地支援を行ってきました。引き続き、皆様の祈りの中に覚えていただければ幸いです。

また、本来であれば秋には、全国YMCAインターナショナルチャリティランの開催が目白押しですが、今年度は、「はなれていてもつながっている」を考え、各YMCAで様々な違いの下で進められています。中止という選択肢もありますが、「バーチャルチャリティラン」という新しい概念を作り出して、チャレンジしています。皆様には、参加賞として、「YMCAマスクとマスクカバー」を準備しておりますが、今できることを一緒にやっていただくことをこの機会にご検討いただければ幸いです。新しいチャリティーランの方向性が見えてくればと期待しているところです。季節の変わり目です。くれぐれもご自愛ください。

日本 YMCA 同盟  
担当主事 光永尚生(三島)

